

基山町まち・ひと・しごと創生
総 合 戦 略

令和2年2月改訂

基 山 町

基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略

目 次

1	基本的な考え方	P 1
2	基山町の現状からみる課題	P 2
3	総合戦略策定の趣旨	P 2
4	総合戦略の位置づけ	P 2
5	総合戦略の対象期間	P 3
6	めざす姿	P 3
7	総合戦略の6つの柱（基本目標）	P 3
8	基本的方向性と具体的な施策	P 5
	①基山町における新たな雇用を創出する	P 5
	1. 産業振興・雇用の拡大	
	2. 雇用の創出・新規創業支援	
	3. 地域資源を活かした地域活性化	
	②基山町を通過点から交流拠点へ	P 9
	4. 集客拠点を活かしたシティプロモーション	
	5. 各種イベントを活かしたシティプロモーション	
	6. 観光とおもてなしによるシティプロモーション	
	③子どもを育てたくなるまち基山をめざして	P 11
	7. 子どもを産み育てる環境づくり	
	8. 子どもの力を育てる環境づくり	
	④安心と安全をベースに新しい協働のまちづくりを実現する	P 14
	9. 安心安全で快適な地域づくり	
	10. みんなが住みたいまちづくり	
	⑤自然と歴史・文化・スポーツを活かしたまちづくり	P 17
	11. 歴史的文化財を活かしたまちづくり	
	12. まなびの場を活かしたまちづくり	
	13. スポーツを活かしたまちづくり	
	⑥高齢者・障がい者（児）にやさしいユニバーサルなまちづくり	P 20
	14. みんなが安心できる元気なまちへ	
9	総合戦略の推進体制	P 22

1 基本的な考え方

国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や政策5原則等を基に、本町における人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立をめざします。

【国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方と政策5原則抜粋】

●「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方

①人口減少と地域経済縮小の克服(3つの基本的視点)

- (1)「東京一極集中」の是正
- (2)若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- (3)地域の特性に即した地域課題の解決

②まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

(1)「しごとの創生」

- ・若い世代が安心して働ける「相応の賃金、安定した雇用形態、やりがいのあるしごと」という雇用の質を重視した取組が重要。

(2)「ひとの創生」

- ・地方への新しい人の流れをつくるため、若者の地方での就労を促すとともに地方への移住・定着を促進する。
- ・安心して結婚・出産・子育てができるよう、切れ目ない支援を実現する。

(3)「まちの創生」

- ・地方で安心して暮らせるよう、中山間地域等、地方都市、大都市圏等の各地域の特性に即して課題を解決する。

●「まち・ひと・しごと創生」政策5原則

①自立性

- ・構造的な問題に対処し、地方公共団体、民間事業者、個人等の自立につながる。

②将来性

- ・地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する。

③地域性

- ・各地域の実態に合った施策を支援。国は支援の受け手側の視点に立って支援。

④直接性

- ・最大限の成果をあげるため、直接的に支援する施策を集中的に実施する。

⑤結果重視

- ・PDCAメカニズムの下、具体的な数値目標を設定し、効果検証と改善を実施する。

2 基山町の現状からみる課題

○若年層の転出超過（人口減少）

本町の総人口は、2000年の19,176人をピークに減少傾向となり、2010年には17,837人となっています。特に15歳から34歳の若年層の転出者の割合が高い状況にあり、日本創成会議においては、基山町の20～39歳の若年女性人口が2010年から30年間で62.1%減少すると推計されています。これは高校や大学等への進学又は就職、結婚等が要因として考えられます。このため、これら若年層の町外への流出を抑制し、町内への転入を促進していく必要があります。

○少子高齢化の進行

本町の合計特殊出生率は1.25となっており、国の1.38、佐賀県の1.61に比べて特に低い状況にあり、また年少人口割合の低下など、少子化が進んでいます。

この少子化の流れに歯止めをかけなければ、これからの定住人口増は厳しい状況にあります。

また、今後は老年人口割合が急激に上昇し、2025年には老年人口がピークを迎えるなど高齢化が進行しており、高齢者が住みよいまちづくりを推進していくことが重要です。

※上記課題を含めて、本町の「しごとの創生」「ひとの創生」「まちの創生」の好循環を考えていく必要があります。

3 総合戦略策定の趣旨

少子化と人口減少を克服し、将来にわたり活力ある地域を維持していくため、まち・ひと・しごと創生法に基づき、基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）を策定し、本町のまち・ひと・しごと創生に関する分野における目標や施策の基本的方向、具体的な施策などをまとめるものです。

4 総合戦略の位置づけ

総合戦略の策定に当たっては、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、佐賀県が策定する総合戦略等を勘案して、本町の第5次基山町総合計画に基づいて策定するとともに、個別計画との整合性を図っていくこととします。

5 総合戦略の対象期間

平成27年度～第2期基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定日までとする。

6 めざす姿

基山町は、豊かな自然環境の中で古くから培ってきた伝統と文化に恵まれ、人と人との絆を大切にしている昔ながらの心あたたかいまちです。これから、この地域性を最大限に活かし、第5次基山町総合計画に掲げる『アイが大きい基山町』～住む人にも訪れる人にも満足度 No.1 のまち基山～ の実現をめざします。

7 総合戦略の6つの柱（基本目標）

基山町の現状や課題、また、国が示す「まち・ひと・しごと長期ビジョン」（平成26年12月）を踏まえ、基山町がこれから人口問題に対応していくためには、出生率の向上による自然動態の改善と、移住・定住人口の増加による社会動態の改善により人口減少に歯止めをかける必要があります。

こうしたことから、以下の基本目標を6つの柱と定め、基山町の人口減少問題に取り組んでいきます。

① 基山町における新たな雇用を創出する

【数値目標】

■新規雇用創出数：100人

【主な取組】

- 新たな手法（基山ふるさと応援通販・基山健康宅配等）による販路・雇用の拡大
- エミューを核とした六次産品の開発・販売による産業振興
- 産業用地の拡大による企業誘致と雇用の創出

② 基山町を通過点から交流拠点へ

【数値目標】

■観光客・交流人口：100,000人

【主な取組】

- 基山PAふるさと名物市場の開設による交流人口の増加
- 産業分野でのイメージキャラクター活用促進による情報発信の強化
- キングダムによる観光地域づくりと関連イベントの開催による来街者の増加

③ 子どもを育てたくなるまち基山をめざして

【数値目標】

- 合計特殊出生率：1.25（平成 24 年）⇒ 1.38
- 子育て支援（満足度指数）：49.4%（平成 26 年）⇒ 55.0%

【主な取組】

- 若い世代の出産等の希望を叶えるための新たな命プロジェクト
- 世界で活躍できるグローバルな人材育成
- 補充授業等による学カアップの推進

④ 安心と安全をベースに新しい協働のまちづくりを実現する

【数値目標】

- 定住人口増：200 人

【主な取組】

- 防犯・防災体制の整備による安全なまちづくり
- 公共施設等の Wi-Fi 環境整備による快適な地域づくり
- 空き家対策強化等による住まいるプロジェクト

⑤ 自然と歴史・文化・スポーツを活かしたまちづくり

【数値目標】

- 文化財の利活用（満足度指数）：64.0%（平成 26 年）⇒ 70.0%
- スポーツの推進（満足度指数）：62.8%（平成 26 年）⇒ 70.0%

【主な取組】

- 文化遺産を活かしたまちづくり
- 図書館のアカデミック空間を利用した総合的な教育の向上
- スロージョギングによる健康づくりの推進

⑥ 高齢者・障がい者（児）にやさしいユニバーサルなまちづくり

【数値目標】

- 高齢者支援（満足度指数）：43.5%（平成 26 年）⇒ 50.0%
- 障がい者支援（満足度指数）：43.7%（平成 26 年）⇒ 50.0%

【主な取組】

- 楽しく元気なシニアライフの創造
- 障がい者（児）へのきめ細やかな福祉サービスの提供

8 基本的方向性と具体的な施策

※重要業績評価指標（KPI）は、平成 31 年度の目標値を設定しています。
（累計）は平成 27 年度から平成 31 年度までの累計値としています。

① 基山町における新たな雇用を創出する

【基本的方向性】

○福岡都心から 20 分と交通アクセスの良さや利便性の高い地域特性の強みを活かし、関係機関との連携を強化して地域に根ざした未来を担う企業の誘致をめざし、人口増加やにぎわいにつなげていきます。

○本町の工業・商業・農業・観光業などにおける雇用機会の確保や起業につながる施策を実施することで雇用の場をつくり、人口流出の抑制・人口流入の促進を図っていきます。

○経験豊かなシニア層を最大限に活かす場を創出し、多様な知識や経験を地域課題とマッチングさせることで地域力の底上げを図ると同時に地域貢献や生きがいの創出、健康志向の引き上げを図ります。

○周辺大学等と連携を図りながら、通学・通勤ができるよう周辺大学等への進学や周辺企業への就職など、地元就職率の向上や雇用創出の推進に取り組みます。

【具体的な施策】

■ 1. 産業振興・雇用の拡大

事業名	1-1 特産品等販路拡大プロジェクト		
取組内容	①町内の特産品等（農産物、加工品等）の新たな手法（基山 PA ふるさと名物市場・基山ふるさと応援通販・基山健康宅配等）による販路拡大により、生産振興を図り、雇用を拡大する。 ②産業振興協議会に集約しながら参画事業者数の拡大によって、町一体となった取組を推進するとともに、規模効果（スケールメリット）・相乗効果（シナジー）の拡大を図る。 ③基山町の統一したブランドイメージを定着させるため「ブランディングシール」を作成し、QR コードにより、産業振興協議会の HP に誘導し、町の統一したブランドイメージの定着を図る。 ④基山町イメージキャラクターの産業分野での活用を促進する。		
重要業績評価指標 (KPI)	販売金額：10,000 千円 新規雇用者数：25 人（累計） 新規販路開拓数：10 件（累計）	担当課	産業振興課

■ 1. 産業振興・雇用の拡大（続き）

事業名	1-2 六次産業化推進プロジェクト		
取組内容	<p>①新たな六次産品の開発を支援し、産業振興を図る。</p> <p>②六次産品の開発に当たっては、主産物に限らず、出荷に当たって廃棄している部分や、未利用素材の活用を図っていく。</p> <p>③大学等学術研究機関と連携を図り、成分分析や市場調査を的確に実施し、事業者自らの商品開発を支援する。</p> <p>④六次産品の核としてエミューの肉、卵、羽、油を利用した商品の開発支援を行い、基山町のイメージを先行させ他商品の販売促進につなげる。</p> <p>⑤基山由来の草木等から有用な酵母菌等を分離培養し、加工品等に添加することによって、基山ブランドの商品づくりを目指す。</p>		
重要業績評価指標 (KPI)	六次産品の商品化数：10件（累計） 六次産品の販売額の前年比：110%	担当課	産業振興課
事業名	1-3 農地の利活用プロジェクト		
取組内容	<p>①農業振興策と連動させ、担い手へ（認定農業者、認定青年就農者、農業生産法人、集落営農組織）へ農地の利用集積を図る。</p> <p>②荒廃農地の解消を図るため、耕作条件が悪い農地にはエミュー放牧で耕種から放牧へ転換させ、農地の活用を図る。</p> <p>③エミュー放牧による獣害対策の実証確認後は、周辺農地へ換金性の高い農作物を導入し、農地利用率と所得の向上を図る。</p> <p>④農地施策と連動し、市街化区域の宅地転用が困難な小農地等に関して、一般市民の利用を促進する。</p> <p>⑤農地の荒廃要因となっているイノシシの獣害対策として、捕獲したイノシシ肉のジビエへの活用促進を図る。</p>		
重要業績評価指標 (KPI)	担い手への農地利用集積面積：330ha 荒廃農地解消面積：15ha（累計） 小農地活用件数:50件（累計）	担当課	産業振興課
事業名	1-4 まちなか資源活用プロジェクト		
取組内容	<p>①商店街の空間、空き店舗・空き事務所、未活用の駐車場等を、「まちなか資源」と捉え、商店街を商店の飲食・物販提供の場から、多様な団体等の発表・表現の場と転換し、来街者の増加を図ることによって、商店街振興を図る。</p> <p>②各種団体のイベントの誘致を商店街と協働で行う。</p> <p>③商店街の魅力ある空間形成について、有識者等の意見等を踏まえ検討する。</p>		
重要業績評価指標 (KPI)	商店街の空間を活用したイベント開催件数：50件（累計） 空き店舗等解消件数：10件（累計） 売上増加事業者割合：20%	担当課	産業振興課

■ 2. 雇用の創出・新規創業支援

事業名	2-1 産業用地の拡大による企業誘致		
取組内容	<p>①企業誘致を図るため、産業用地化できる土地について、市街化区域への編入を含め検討する。</p> <p>②誘致企業の業種については、鳥栖・基山地区企業立地促進計画との整合や町の企業誘致奨励金制度における業種の見直し等も含め検討し、情報の発信を行い企業誘致に取り組む。</p> <p>③近隣市町との広域連携による情報発信を行う。</p>		
重要業績評価指標 (KPI)	誘致企業数：5件（累計）	担当課	産業振興課 定住促進課
事業名	2-2 企業の魅力創造プロジェクト		
取組内容	<p>①企業の人材確保と雇用の促進を図るため、企業と協働で工場等見学会を開催し、地元企業の情報発信を行う。</p> <p>②見学会は、子ども対象のものから、大人が楽しめるようなメニューの開発を行う。</p>		
重要業績評価指標 (KPI)	工場等見学会参加者数：430人（累計） 新規雇用者数：15人（累計）	担当課	産業振興課
事業名	2-3 UIJターン&若者の就労支援プロジェクト		
取組内容	<p>①UIJターンを希望する者や地元就職を希望する新卒者等をもつ親などを対象に、地元企業や住宅政策の説明会を開催する。</p> <p>②説明会は、お盆、正月の帰省前の7月、11月に開催し、開催効果の最大化を図る。</p> <p>③本事業によりマッチングができた場合のインセンティブについて検討を行い、地元への定住・雇用の創出を図る。</p> <p>④自治体や中小企業等と協働し、地域の雇用創出や学卒者の地元定着率の向上に資するため、佐賀大学が取り組む地方創生事業に参画し、地域を担う人材育成を推進する。</p> <p>⑤インターンシップの受入れや就職説明会開催に関する情報提供や就労マッチング等に取り組みながら、地元への定住・雇用の創出を図る。</p> <p>⑥基山町独自の無料職業紹介所（基山町版ハローワーク）を設置し、地元事業者と求職者のマッチングを促進し、若者や子育て世代の定住・雇用確保を図る。</p>		
重要業績評価指標 (KPI)	UIJターン者数：10人（累計） 新規雇用者数：30人（累計）	担当課	産業振興課 定住促進課
事業名	2-4 創業支援プロジェクト		
取組内容	<p>①ソーシャルビジネス（※）をはじめ、新たな商品・サービスを提供する創業者を掘り起し、関係機関と連携して創業支援を行う。</p> <p>②創業のためのセミナー等を開催する。</p> <p>（※）地域社会における環境保護、高齢者の介護、子育て支援等多様な地域社会の課題解決に向けて、住民、NPO、企業等が協力しながらビジネスの手法を活用して取り組む事業をいう。</p>		
重要業績評価指標 (KPI)	創業支援対象者数：72人（累計） 創業者数：16人（累計）	担当課	産業振興課

■ 3. 地域資源を活かした地域活性化

事業名	3-1 特産品活用プロジェクト		
取組内容	①町の特産品を町内の販売店等で販売してもらうよう働きかける。 ②新たに開発した六次産品について、町内の販売店等で販売してもらうよう働きかける。		
重要業績評価指標 (KPI)	取扱い店舗数：10店舗（累計）	担当課	産業振興課
事業名	3-2 観光資源活用プロジェクト		
取組内容	①大興善寺、基肄城跡の観光資源を活用し、観光と連動した特産品等の販売促進を図り産業振興を行う。 ②町内の神社を「契山」伝説を中心に関連する地点をストーリー化して結んだ回遊コースを設定し、コース上でのおもてなしによる特産品等の販売促進を図るとともに、観光客の増加を図る。		
重要業績評価指標 (KPI)	大興善寺祭りの出店店舗数：10店舗 JRウォーキング時の出店店舗数：10店舗 回遊コース上の出店店舗数：10店舗	担当課	産業振興課
事業名	3-3 SGK人材（戦略的シルバー）を活用した地域活性化事業		
取組内容	①シニアのノウハウを活かした休日寺子屋事業を実施する。 ②中小企業への経営指導・アドバイスを行う。 ③コンビニ等と連携し、高齢者の雇用を創出する。 ④高齢者のバランス能力や筋力向上に効果的な運動教室等を行う。 ⑤多世代交流の居場所づくりを行う。 ⑥地産地消の促進と住民間のコミュニティ形成を支援する。		
重要業績評価指標 (KPI)	SUGOKAシニア登録者数：100人 新規雇用者数：5人（累計） 起業数：3件（累計）	担当課	総務企画課

② 基山町を通過点から交流拠点へ

【基本的方向性】

○集客力の高い基山PAや基山駅周辺などを集客拠点の中心と位置づけ、各集客拠点を結び、豊かな自然の中で育まれた農産物の販売など魅力ある施策を進めることにより「ひと」を呼び込み、交流人口の増加を図ります。

○町内で開催されるスポーツや文化のイベントを積極的に支援して、交流人口の増加や町の活性化につなげます。

○地域ブランドを確立していくとともに魅力ある観光地域づくりやおもてなし体制の充実を図りながら、町外に向けたシティプロモーションを推進します。

【具体的な施策】

■ 4. 集客拠点を活かしたシティプロモーション

事業名	4-1 基山PAふるさと名物市場事業		
取組内容	①町の情報発信基地及びミニ物販直売所として「基山PAふるさと名物市場」を設置し、地元の野菜・食品加工・工芸品の直売を行う。また、観光案内コーナーにおいて、町の情報発信を行う。 ②地元中小企業等の商品開発・販路拡大の支援を行う。 ③国の「ふるさと名物応援宣言」に取り組み、事業展開において関連する助成事業の活用を図る。		
重要業績評価指標 (KPI)	購入者数：24,000人 年間商品販売額：1,680万円	担当課	産業振興課
事業名	4-2 交流拠点整備プロジェクト		
取組内容	①観光シーズン（つつじ祭り、紅葉祭り）時に、産業振興と連動した情報発信を行い、集客効果を高める。 ②計画的で安全な道路整備を行い、集客拠点を結ぶ交通ネットワークを強化する。		
重要業績評価指標 (KPI)	大興善寺入園者数：80,000人 JRウォーキング参加者数：4,000人	担当課	産業振興課
事業名	4-3 観光案内の見える化プロジェクト		
取組内容	①観光案内について、分かりやすい案内表示に努め、統一した案内表示を行う。 ②各関係機関のHPとの連動を図り、町の行事等が統一して発信できるよう関係者の連携を図る。 ③まちなか公民館や民間設置の観光拠点に、町の観光案内所機能を持たせ、回遊性を高める。		
重要業績評価指標 (KPI)	観光サイトアクセス数：150,000件	担当課	産業振興課 総務企画課

5. 各種イベントを活かしたシティプロモーション

事業名	5-1 基山町知ればいい街プロジェクト		
取組内容	①「ふ・れ・あ・いフェスタ」を様々な情報媒体を活用して町外者へPRし、参加増加による基山の知名度を向上する。 ②「ふ・れ・あ・いフェスタ」の参加者に対し、基山の特産物や名所、子育て、定住施策等のPR活動を行う。		
重要業績評価指標 (KPI)	「ふ・れ・あ・いフェスタ」交流人口： 10,000人	担当課	産業振興課 まちづくり課
事業名	5-2 町のPR活動プロジェクト		
取組内容	①町内外の方への情報発信として、総合公園に掲示板やパンフレットを設置し情報発信を行う。 ②子育て支援について、町の施策が充実していることを近隣自治体と比較した内容でアピールする。 ③不動産事業者のHPやチラシに町の各種施策（子育てしやすい制度など）を物件情報と一緒に掲載してもらう。		
重要業績評価指標 (KPI)	施策による町外からの転入人口：100人	担当課	定住促進課

6. 観光とおもてなしによるシティプロモーション

事業名	6-1 基山町ブランディング戦略プロジェクト		
取組内容	①各関係機関のHPとの連動を図り、町の行事等が統一して発信できるよう関係者の連携を図る。 ②町のイメージづくりを推進するため、各種媒体によって発信し、町の観光資源の映像コンテンツ化を推進する。 ③イメージキャラクターの活用を促進し、基山町の情報発信を強化する。		
重要業績評価指標 (KPI)	イメージキャラクター貸出件数：120件 基山町HP閲覧数：200,000人 映像コンテンツ数：20件	担当課	総務企画課 産業振興課
事業名	6-2 観光地域づくりプロジェクト		
取組内容	①観光シーズンに連動した、地域独自の取組みを促進する。 ②業者や商店街に観光入込数等の情報を提供し、独自の収益活動を支援する。 ③基山町出身の人気漫画家の原泰久氏の「キングダム」に肖った観光地域づくりを行うとともに、関連イベント等の開催により来街者の増加を図る。		
重要業績評価指標 (KPI)	大興善寺入園者数：80,000人 JRウォーキング参加者数：4,000人 キングダム関連イベント数：3回	担当課	産業振興課

③ 子どもを育てたくなるまち基山をめざして

【基本的方向性】

- 妊娠・出産・育児について、だれもが安心して子どもを生き育てることができるように子育て支援の充実、地域ぐるみで育む環境づくりに取り組みます。
- 子育て世代をみんなで支え合い、男女が共に仕事と家庭、子育て、地域活動などを両立できるワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。
- 学校教育における基礎学力の向上、社会体験や国際力の強化などに取り組み、教育力の高いまちとして豊かな人間性と社会性を持った子ども達を育みます。

【具体的な施策】

■ 7. 子どもを産み育てる環境づくり

事業名	7-1 新たな命プロジェクト		
取組内容	①妊婦健診及び乳幼児健診を継続し、疾病等の早期発見や母子健康づくり育児不安の解消等に努め、更なる充実を行う。 ②母子手帳交付及び妊婦健診等により、妊娠期から関わりを持ち、妊娠・出産・子育てに関する情報を積極的に発信し、妊婦との信頼関係を築き細やかなサービスを提供する。 ③不妊治療に対する助成を通じて、不妊に悩む人の経済的負担・精神的負担を軽減し、多くの新たな命の誕生をサポートする。 ④虐待につながりやすい身体面や精神面、養育環境、経済面などの状況把握を妊娠期から行い、支援が必要な人には、早期に介入し細やかな母子保健サービスを行う。		
重要業績評価指標 (KPI)	出生者数：140人	担当課	健康増進課
事業名	7-2 地域ぐるみの子育て応援プロジェクト		
取組内容	①子育てに関する町民満足度調査を実施する。 ②子育て経験者や子ども好きな人などの「協力会員」と、子育ての相談や保育所や学童への送迎など子育ての手助けをしてほしい「利用会員」をそれぞれ登録し、マッチングしている育児サポートセンター事業をさらに充実させる。 ③登録者（協力会員・利用会員）への講習会を開催する。 ④基山町独自の無料職業紹介所（基山町版ハローワーク）と連携した就労支援施設「基山っ子未来館（仮称）」の整備を行う。		
重要業績評価指標 (KPI)	育児サポート協力会員：100人 育児サポート利用会員：100人	担当課	こども課

■ 7. 子どもを産み育てる環境づくり（続き）

事業名	7-3 すこやか成長プロジェクト		
取組内容	①子どもの医療費や予防接種などの助成を継続する。 ②教育・保育を希望するすべての人が安心して子どもを預けられるよう、施設の利用調整を行う。 ③利用者の生活実態やニーズを十分に踏まえて、多様な保育サービスを充実させる。 ④各園巡回訪問により支援が必要な人の早期発見を行い、自立に向けた支援を行う。 ⑤乳幼児と親が自由に集い気軽に相談や、子育てに関する情報交換ができる“子育て交流広場”の充実を図る。 ⑥子育て支援関係機関が連携をとりながら子育て支援の充実を図る。 ⑦就学前の教育・保育から小学校教育へ移っていく過程におけるトータルサポーターを配置し、発達診断検査を行うなど、教育の連動性と学びの基礎力を養うための支援を行う。 ⑧保育園、幼稚園の連携会議を設け、就学前教育の保育・教育に関する情報交換、課題研修を推進し、未就園児の親との交流を図る。		
重要業績評価指標 (KPI)	乳幼児健診受診割合：100% 教育・保育利用申込者の施設入所割合：100% 子育て交流広場来場者延人数：9,500人	担当課	健康増進課 こども課

■ 8. 子どもの力を育てる環境づくり

事業名	8-1 基山町グローバル人材育成事業		
取組内容	①英語を話せるレベルになるため、ALTを配置する。 ②英語教育強化のための補助教材の整備を図る。 ③英語を通じて言語や文化について体験的に理解を深める。 ④外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみながら、コミュニケーション能力の素地を養う。 ⑤英検等の受検者に対して、受検料の補助を行う。		
重要業績評価指標 (KPI)	英検等受検者数：200人	担当課	教育学習課
事業名	8-2 学校給食地場産物活用事業		
取組内容	①地場産物を使った学校給食の献立作成と食育指導を実施する。 ②学校給食に使用した地場産物を教材とした授業や学校行事、講演等を実施する。 ③生産者の組織化やJA・地元の商工会等との連携・協力による安定的な納入体制の整備を図る。 ④保護者の負担に配慮しつつ、導入可能な地元産物を検討する。		
重要業績評価指標 (KPI)	学校給食の県内産食品数の割合：60% 給食に地場産物（町内）を活用した日数：170日	担当課	教育学習課

■ 8. 子どもの力を育てる環境づくり（続き）

事業名	8-3 学力アップ推進プロジェクト事業		
取組内容	①平日の放課後（中1・2）と土曜日（中3）に補充授業を開催する ②社会貢献意識はあるが行動に移せていないシニアの方々が、社会教育の基礎を学びながら、学習支援を体験・実践する。 ③学習環境整備の充実（エアコン整備、ICT教育推進等）を目指す。 ④学力向上の底上げと事務量等の負担軽減を図るため、少人数学級を検討する。		
重要業績評価指標 （KPI）	受講者数：240人	担当課	教育学習課
事業名	8-4 社会自立をめざすスキルアップ事業		
取組内容	①連帯感や連帯意識、責任感を培いながら、共に目標達成や課題解決する喜び充実感を体得する特別活動を推進する。 ② <u>ソーシャルスキルトレーニング（※）</u> を取り入れ、自分の思いを伝えたり、他者の感情や思いを受け止めたりする活動を通して、コミュニケーション能力を高め、よりよい人間関係を構築する。 ③小中学校の連携による一貫した進路指導の充実と改善を行う。 ④各事業所を生徒が訪問する職場体験などを行う。 ⑤働くことの厳しさや楽しさ、やりがいなどを学び、一人ひとりの勤労観や職業観を育む職場体験や職場見学、講師派遣などを行う。 （※）対人場面において、相手に適切に反応するために用いられる言語的・非言語的な対人行動のことで、その対人行動を習得する練習のことをいう。		
重要業績評価指標 （KPI）	職場体験参加者の満足度割合（中学2年生）：100%	担当課	教育学習課
事業名	8-5 料理教室事業		
取組内容	①体験学習（小学生の給食センター1日体験）を実施する。 ②スポーツ栄養教室（中学校部活動生徒の調理実習等）を開催する。 ③親子料理教室や男性の料理教室等を開催する。 ④「学校給食週間」を開催し、ビデオの上映等を行う。		
重要業績評価指標 （KPI）	料理教室参加者数：370人 給食センター体験学習参加者数：60人 必ず朝食を食べる人の割合：95%	担当課	健康増進課 教育学習課

④ 安心と安全をベースに新しい協働のまちづくりを実現する

【基本的方向性】

○自然災害の少ない地域でありながらも、さらなる安心安全なまちとして、地域パトロールの充実や防犯カメラの設置等に取り組みます。

○ゴミの分別によるごみ減量化の推進など環境に配慮した取組を町民と協働で進めます。

○基山駅を中心に徒歩 15 分圏内で全てがそろそろコンパクトシティを最大限に活かし、積極的な住宅施策や移住希望者に向けた暮らしに関する情報の発信などによる定住人口増対策に取り組みます。

【具体的な施策】

■ 9. 安心安全で快適な地域づくり

事業名	9-1 安心して暮らせるまちづくりの形成		
取組内容	①巡回パトロールを定期的を実施する。 ②防犯灯・防犯カメラを必要な箇所に設置する。 ③町民の悩み事を解消するため、定期的な町民相談（法律相談を含む）の充実を図る。 ④消費生活トラブル（悪徳商法など）から町民を守るために、啓発活動を強化する。		
重要業績評価指標 (KPI)	犯罪件数：前年度比 5%減 相談回数：60 回 啓発活動回数：24 回	担当課	総務企画課 住民課
事業名	9-2 防災対策強化事業		
取組内容	①防災のための情報伝達手段の整備を行います。 ②各地区で自主防災組織の訓練に取り組むよう推奨する。 ③地域防災リーダーの育成研修を実施する。 ④防災訓練を実施する。		
重要業績評価指標 (KPI)	防災研修実施回数：2 回 訓練参加者数：500 人	担当課	総務企画課
事業名	9-3 公共施設等の Wi-Fi 環境		
取組内容	①基山町庁舎、町民会館、総合体育館等の Wi-Fi 環境の構築を図る。 ②災害発生時の通信手段の確保を行う。 ③不正アクセス防止のためのフィルタリング機能の整備を図る。		
重要業績評価指標 (KPI)	Wi-Fi 導入施設数：7 か所	担当課	総務企画課 財政課 まちづくり課

■ 9. 安心安全で快適な地域づくり（続き）

事業名	9-4 ごみの減量化及びごみ集積所の整備		
取組内容	①資源化できるごみの分別種類の拡大及び指定袋の検討を行う。 ②利用しやすい資源物回収ステーションへの改修を行う。 ③戸別収集が多い地区に共同集積所を設置し、ステーション収集化していくことを検討する。		
重要業績評価指標 (KPI)	ごみの排出量の削減：前年度比 0.5%減	担当課	まちづくり課

■ 10. みんなが住みたいまちづくり

事業名	10-1 住まいるプロジェクト		
取組内容	①市街化区域内の農地所有者及び宅地所有者等に対する土地等の利用調査を行い、その結果を踏まえ宅地開発シミュレーションを実施する。 ②農地や空き家等の調査結果を踏まえ、居住誘導並びに町内住み替え等、住宅環境の効果的な施策を検討する。 ③空き家及び空地状況の実態調査を踏まえ、空き家バンク等マッチングを実施する。 ④子育て・若者世帯の住宅取得補助を行う。 ⑤住宅リフォーム（同居のための住宅）への助成（定住向け（購入者へ）、賃貸向け（貸付者へ））を設ける。 ⑥新婚世帯家賃補助を行う。 ⑦町外居住者のうち福岡都市圏への通勤通学者をターゲットに住宅情報の提供を行い移住定住の促進を行う。 ⑧移住・定住促進のため、空き家等を利活用するためにモデル住宅事業を行う。		
重要業績評価指標 (KPI)	住宅補助件数：120件（累計） 空き家バンク等登録数：30件（累計） 市街化区域（農地）の宅地開発面積： 62,000㎡（累計）	担当課	定住促進課
事業名	10-2 町内住み替え等の推進による定住促進プロジェクト		
取組内容	①医療（福祉）関係者・建設業者・住宅関連業者・住民等による町内移住推進モデル構築に向けた協議会を設置する。また、専門家（コーディネーター）とも連携し、協議会と一体となったまちづくりスキームの構築を図る。 ②暮らしに関わる情報（仕事、子育て、教育、福祉、住宅等）を発信するポータルサイトを開設し、町内住み替え希望者等に対する相談の強化を行う。 ③「サービス付き高齢者向け住宅」等、住み替え環境の整備を実施する。		
重要業績評価指標 (KPI)	施策による町内での転居人口：50人 施策による町外からの転入人口：100人	担当課	定住促進課

■ 10. みんなが住みたいまちづくり（続き）

事業名	10-3 協働のまちづくり推進プロジェクト		
取組内容	<p>①まちづくり計画策定団体への支援の充実や活動団体の実績報告会に広くCSOに参加を呼びかけ、具体的な支援策の提示、団体間の連携を促進させるなど、町民の参画と創意工夫による協働のまちづくり活動の拡充を図る。</p> <p>②地区公民館などの地域拠点を活用した地域に根差した協働のまちづくりを行う。</p>		
重要業績評価指標 (KPI)	まちづくり計画策定団体数：6団体（累計） まちづくり基金事業応募団体数：15団体	担当課	まちづくり課

⑤ 自然と歴史・文化・スポーツを活かしたまちづくり

【基本的方向性】

- 基肄城跡や長崎街道など郷土の先人たちにより守り受け継がれてきた誇りある歴史文化を保全し、郷土愛の育成や次世代への継承に取り組みます。
- 誰もが健康でスポーツを楽しめるまちをめざすとともに、スポーツイベントをまちづくりの一つのツールとして様々な分野で活用し、交流人口の増加につなげます。
- 豊かな自然を守りつつ、この自然環境を活かした自然に触れ親しむ機会の場を創出します。
- これからの情報化社会に対応するため、図書館を多世代が集うアカデミックサロンとして活用し、地域情報拠点かつ交流人口拠点としての機能の充実を図ります。

【具体的な施策】

■ 11. 歴史的文化財を活かしたまちづくり

事業名	11-1 文化財・文化遺産再発見事業		
取組内容	①文化遺産ガイドとともに、町内にある文化財・文化遺産の再整理と調査研究を行う。 ②再整理・調査研究の成果等をデータベース化するとともに、ホームページ等で情報を発信する。 ③大学や専門機関と交流することで、効率化を高めるとともに、町内文化財・文化遺産に携わる関係者を増やすことで全国に発信していく。 ④調査成果について、一般向けの報告会を行う。また、外部から有識者を招いた講演会も定期的に行う。 ⑤各遺跡にサイン（案内板）を設置する。 ⑥官民協働での見学会や遺産探訪などを行う。		
重要業績評価指標 (KPI)	文化財・文化遺産活用事業参加者数：900人	担当課	教育学習課
事業名	11-2 「自然×歴史×文化」を活かしたまちづくり事業		
取組内容	①文化財部局と建設部局等が連携した策定委員会を設置し、基山の個性（文化遺産）を活かした歴史的風致維持向上計画を策定する。 ②計画に基づき、統一したまちなみ景観として歴史的風致の保存・整備を図る。 ③観光ガイドを育成するなど観光スポットとしての事業展開も行う。		
重要業績評価指標 (KPI)	見学会参加者数：200人	担当課	教育学習課

■ 1 1. 歴史的文化財を活かしたまちづくり（続き）

事業名	11-3 文化芸術活動推進プロジェクト		
取組内容	<p>①町内の文化芸術活動者に講師を依頼のうえ講座を開催していき、広く町内の文化活動の普及啓発を図る。</p> <p>②町内の小中学生を対象にした文化芸術講座を開催する。</p> <p>③舞台演劇の定期公演や展示作品の発表の場を提供する。優秀な作品などは「広報きやま」にて紹介し、各地区公民館にて移動展示をするなど、発表の場を提供し顕彰する。</p>		
重要業績評価指標 (KPI)	新規講座開設数：3講座（累計）	担当課	まちづくり課

■ 1 2. まなびの場を活かしたまちづくり

事業名	12-1 図書館による多様な学びを基盤としたアカデミックな人材育成事業		
取組内容	<p>①あらゆる人へ学びの支援となる多様な資料を提供するため、紙ベースの資料提供のほか、RESAS等様々なデータベースも利用できるようにする。</p> <p>②様々な題材をテーマにした読書会・交流会を行い、多世代を交えた学びを行う。これからの社会に必要な情報・スキルを学び、町民同士が向上し合うアカデミックサロンを構築する。</p> <p>③小中学校の学校図書室と図書館のシステムを連携し、図書館の資料を最大限に有効活用できる質の高い読書環境を提供する。</p>		
重要業績評価指標 (KPI)	図書貸出冊数：200,000人 イベント参加者数：1,200人	担当課	まちづくり課
事業名	12-2 図書館による地域情報発信事業		
取組内容	<p>①生活に必要な情報（医療・子育て・就業等）の支援をウェブサイト、図書館の資料、関連データベースにより行い、それらに専門性が必要な場合は役場関連部署や専門機関につなぐなど、きめ細やかな地域情報サービスを行う。</p> <p>②起業や就労について、関係の資料の提供だけでなく、RESAS等データベースによる情報収集も支援する。職業訓練所や専門機関と連携し、起業や就職、転職、仕事のスキルアップとなるセミナーを開催する。</p> <p>③観光協会や商工会等と連携し、図書館きやまラウンジ掲示板やホームページ等で町の魅力を発信し、情報を「見える化」とするとともに町の活性化につなげる。</p>		
重要業績評価指標 (KPI)	図書館への来館者数：130,000人 図書館HP閲覧数：18,000人	担当課	まちづくり課

■ 13. スポーツを活かしたまちづくり

事業名	13-1 スポーツでまちおこし！		
取組内容	①スポーツ大会の開催状況を町内外に発信する。 ②試合を観戦し、実際に競技を体験できる取組を行う。 ③大会時に観光ブースや販売スペースを展開し、基山町をPRする。 ④基山ロードレースのコースに観光スポットを設定するなど、今後の交流人口の増大につながる取組を実施する。 ⑤スポーツ等合宿所の整備を行う。		
重要業績評価指標 (KPI)	町外からの体育施設延べ利用者数：5 0,000人	担当課	まちづくり課
事業名	13-2 スポーツで健康づくりプロジェクト		
取組内容	①スロージョギングを教室やクラブとして町民に参加いただき、健康意識と運動の継続を促し、健康の向上と地域のにぎわいを図る。		
重要業績評価指標 (KPI)	スロージョギング教室の延べ参加者 数：1,500人	担当課	まちづくり課 福祉課

⑥ 高齢者・障がい者（児）にやさしいユニバーサルなまちづくり

【基本的方向性】

○高齢者や障がい者（児）が健康や生活に不安がなく、住み慣れたこの地域で安心して笑顔で暮らせるまちとして、地域ぐるみで生活支援を推進するとともに、介護予防や気軽に集える場・活動の場の確保など支援の充実を図ります。

○高齢者をはじめ全ての町民にとって暮らしやすい、ハード及びソフトの物心両面からのユニバーサルデザインによるまちづくりに取り組みます。

【具体的な施策】

■ 14. みんなが安心できる元気なまちへ

事業名	14-1 高齢者支援事業		
取組内容	①地域包括支援センター、医療機関等との連携を強化し、介護予防事業等の質を向上させる。 ②ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯等への配食サービスに加えて、日用品等を配達できるよう検討する。 ③買い物弱者の方の移動手段の確保（コミュニティバス活用など）や宅配サービスの提供等支援の充実を図る。 ④軽度な支援が必要な高齢者への軽作業ボランティア活動を行う。 ⑤地域や民生委員等と連携を図り、地域ぐるみで高齢者への見守り活動を強化する。 ⑥徘徊高齢者の登録制度の推進と声かけ訓練（徘徊模擬訓練）を定期的に実施する。		
重要業績評価指標 (KPI)	地域包括支援センター相談件数： 2,150件 徘徊高齢者等の登録件数：40件	担当課	福祉課
事業名	14-2 障がい者（児）支援事業		
取組内容	①サービスを一体的に提供するため、鳥栖・三養基地区総合相談支援センター等関係機関と連携を強化し、研修等を実施する。また、個々の相談に対応するため、電話、ファックス、メールでの相談だけでなく訪問相談による支援件数を増やす。 ②障害福祉サービスを利用するのに、個々に「サービス等利用計画案」を作成する必要があるが、この作成率の100%をめざす。 ③障がいや障がい者（児）についての正しい知識と理解を深めるため、積極的な啓発活動を行う。 ④障がい者（児）の就労などの社会経済活動への参加を支援する。 ⑤虐待防止のため、鳥栖・三養基地区総合相談支援センター等関係機関と連携し早期発見・早期対応を図る。		
重要業績評価指標 (KPI)	総合相談支援件数：2,200件 サービス等利用計画作成件数： 170件	担当課	福祉課

■ 14. みんなが安心できる元気なまちへ（続き）

事業名	14-3 楽しいシニアライフ		
取組内容	<p>①通学路、歩行者道、自転車道の道路区分を色分けし、歩行者の安全向上を図る。</p> <p>②シニア層の健康増進を図るため、総合公園を起点としてスロージョギングコースを設定し、案内用地図や走行距離等を掲載した案内板を設置する。また、スロージョギングイベント等を定期的開催する。</p> <p>③町内のシニア層に SNS を活用した情報共有のため、パソコンやタブレット教室等の推進を行う。</p> <p>④多世代が気軽に集える交流拠点を整備する。</p>		
重要業績評価指標 (KPI)	スロージョギングイベント延べ参加者数：100人 パソコン・タブレット教室延べ受講者数：500人	担当課	まちづくり課 住民課
事業名	14-4 基山版CCRC（※）事業		
	<p>（※）「大都市圏に在住する高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくり」を目指すこと。</p>		
取組内容	<p>①地域の中で、多職種・多世代・住民同士がお互い支え合いながら、住み慣れた地域で、その人らしく暮らせる環境を支える仕組みづくりを行う。</p> <p>②社会福祉協議会と連携し、ボランティア団体等と一緒に地域内の清掃、草取りなどを行うことにより、居住者間の連帯感も生まれ、やる気がある人はボランティア団体やシルバー人材センターに登録して活躍することができるように整備を行う。</p> <p>③医療介護が必要となった時に安心して地域ケアが受けられるような体制確保を目指し、地域包括ケア関連施策との連携を図り、高齢者や障害者の方が住みやすくなるように整備を行う。</p> <p>④介護、予防、交流スペースなどの機能を一体的に整備し、医療介護支援、地域包括ケアサポートなどの総合的な相談室の設置や「通いの場」をつくり、社会福祉協議会と連携し、各サロンと一緒に運動教室を行うなどの健康づくりの場として活用する。</p> <p>⑤官民協働で地域内の高齢者等の見守りを行うネットワークをつくり、高齢者住宅への訪問など充実した高齢者支援を行う。</p>		
重要業績評価指標 (KPI)	介護予防サポーター登録者数：80人（累計） 通いの場設置箇所数：19箇所（累計） 多世代交流センター憩の家来館者数：35,000人	担当課	福祉課

9 総合戦略の推進体制

総合戦略の推進については、基山町まち・ひと・しごと創生推進本部において行います。また、基山町まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱第2条の規定により、総合戦略を策定又は変更しようとするときは、基山町まち・ひと・しごと創生推進会議の意見を聴くことによって進めます。

(1) 総合戦略の進行管理

総合戦略の進行管理については、PDCAサイクルによって、その進捗の達成度や効果などを検証し、改善する仕組みを構築します。

この効果検証の客観性を担保するため、基本目標に数値目標、施策ごとに重要業績評価指標（KPI）を設定し、目標や施策等の効果について外部委員による検証機関として基山町まち・ひと・しごと創生推進会議において検証します。

(2) 総合戦略の見直し

総合戦略の期間は5年間としていますが、本町を取り巻く社会経済情勢やニーズの変化、また法律や国の制度改正などがあった場合には、計画期間中においても必要に応じて見直しを行います。

基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成27年10月策定

平成28年 9月改訂

平成29年 8月改訂

平成30年 8月改訂

令和元年 8月改訂

令和2年 2月改訂

基山町総務企画課